

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2072100379		
法人名	社会福祉法人 敬老園		
事業所名	グループホームかるいざわ敬老園		
所在地	長野県北佐久郡軽井沢町大字道分1436番地		
自己評価作成日	平成 24年 1月 24日	評価結果市町村受理日	平成 24年 3月 28日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kai.gokouhyou.jp/kai/gosi/p/infomati/onPubl i c.do?JCD=2072100379&SCD=320&PCD=20
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	コスモプランニング株式会社
所在地	長野市松岡1丁目35番5号
訪問調査日	平成 24年 2月 22日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>地域や家族との交流 地域には、グループホームの存在を知って貰い、理解して貰える事を目指して外出の機会を多く取り地域の方と関わる機会を多くつくっている。家族に対しては、催事を多く計画して頂く機会を多く作り、職員と関わりを重ねる事で関係作りにも努めている。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>北国街道と中山道との分岐点としてにぎわった宿場の雰囲気の色濃く残り、堀辰雄など多くの文人に愛された追分宿近くの複合施設「かるいざわ敬老園」の1階に当ホームがある。すぐ南側には国道18号線が通り小学校や保育園も近くにあるが木々に囲まれているためか喧騒さは微塵も感じない。法人のブロック別の今年度のテーマとして「私が暮らしたい」を取り上げそれぞれの事業所で取り組み、当ホームでは「自分が暮らしたい」ということを念頭に「かるいさんのあじさい」という紙芝居の制作に到った。結果、時間の繋がりの中での入居者と家族、職員との関わりが見られるようになってきてホームが大きな変化を遂げたという。7月に複合施設全体で行なわれた七色祭(納涼祭)では入居者の思いや家族の入居者に対する思い、職員の思いを手紙風に綴ったものをバックグラウンドミュージックを流しながらディスクジョッキー風に読み、家族はじめ参加者に感動を与えたという。複合施設内のホームというとかく取りつきがたい思いを抱きがちであるが、理念の「入居者の方々がその人らしく笑顔で生活できるよう地域資源を活用し良質な援助を行います」を実現すべく、入居者と職員と一緒に自ら外に出て行き地域の方々とふれあう機会をつくろうと積極的に取り組んでいる。</p>

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		